

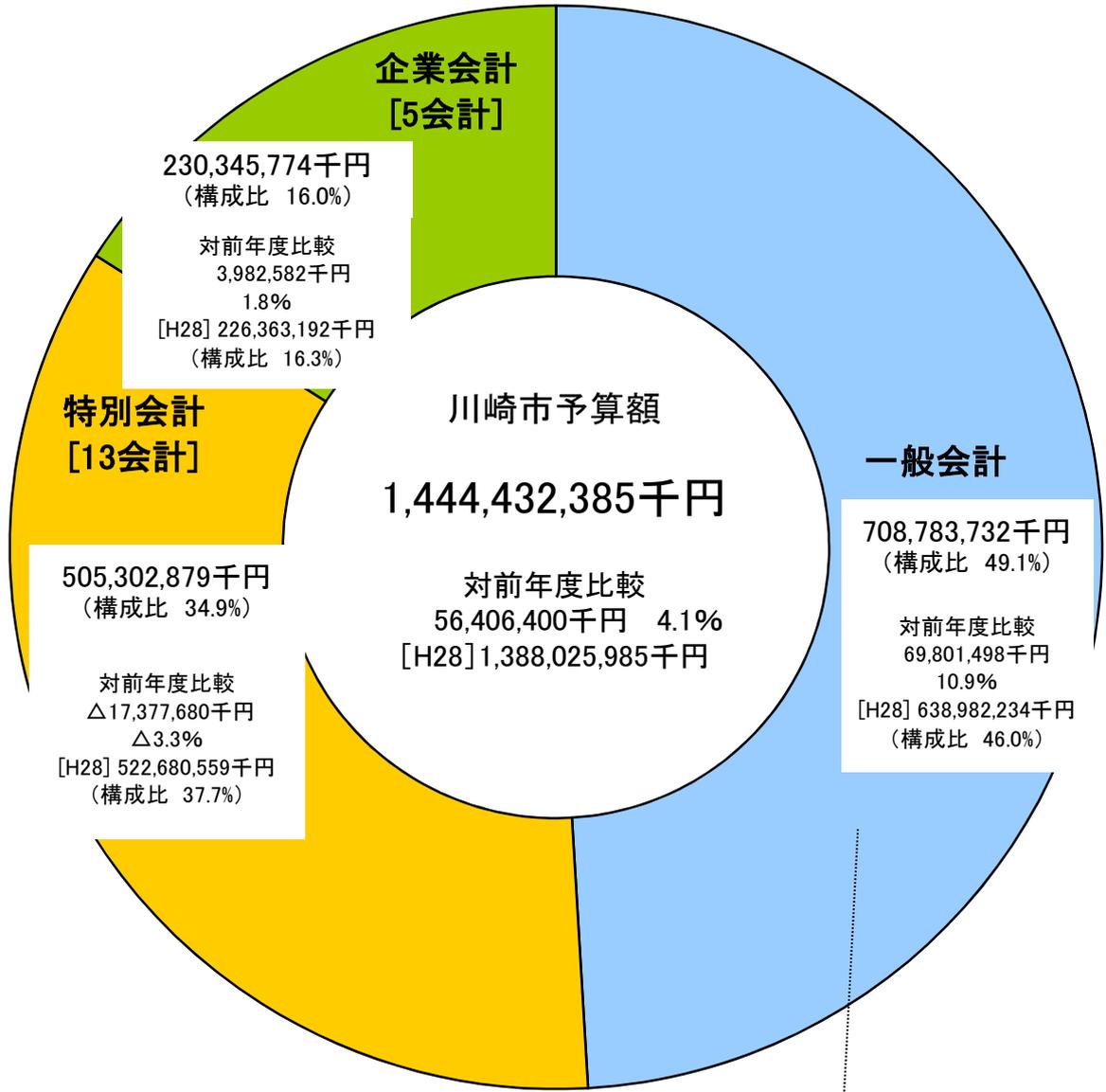
平成 29 年度

教育費予算(案)概要・重点施策

平成29年2月

第1表

平成29年度川崎市各会計・教育費予算(案)の概要



一般会計のうち 教育費 95,332,390千円 (構成比 13.5%)
対前年度比較 45,932,905千円 93.0%
[H28] 49,399,485千円 (構成比 7.7%)

平成29年度 川崎市各会計歳出予算額の対前年度比較表

(単位 千円、%)

	平成29年度予算額	構成比	平成28年度予算額	構成比	増減額	増減率
一般会計	708,783,732	49.1	638,982,234	46.0	69,801,498	10.9
特別会計 (13会計)	505,302,879	34.9	522,680,559	37.7	△ 17,377,680	△ 3.3
企業会計 (5会計)	230,345,774	16.0	226,363,192	16.3	3,982,582	1.8
合計	1,444,432,385	100.0	1,388,025,985	100.0	56,406,400	4.1

川崎市一般会計予算及び教育費予算の年度別状況

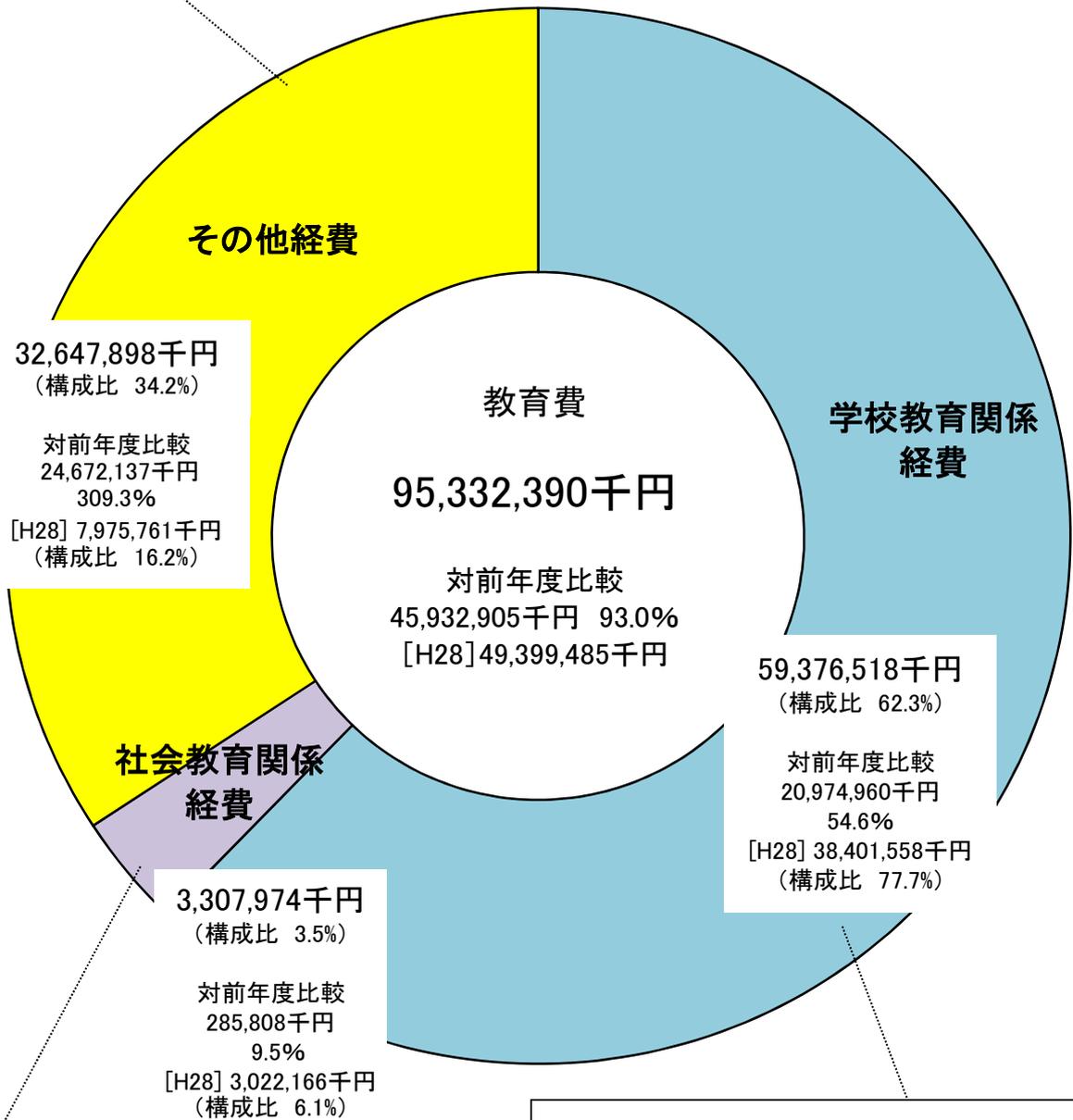
(単位 千円、%)

	一般会計予算額(a)	前年度 増減率	教育費予算額(b)	前年度 増減率	構成比 (b)/(a)
平成29年度	708,783,732		95,332,390		13.5
前年度 増減額	69,801,498	10.9	45,932,905	93.0	
平成28年度	638,982,234	3.3	49,399,485	15.0	7.7
平成27年度	618,872,041	0.3	42,973,503	△ 2.3	6.9
平成26年度	617,116,662	3.1	43,972,978	△ 9.2	7.1
平成25年度	598,409,068	0.5	48,403,844	6.0	8.1
平成24年度	595,632,267	△ 3.6	45,652,970	0.6	7.7

第2表

平成29年度教育費予算(案)の目的別分類

・教育委員会費	17,337千円
・事務局費	32,630,561千円



・社会教育費	3,307,974千円
--------	-------------

・教育総務費	2,107,103千円
(教育委員会費, 事務局費を除く)	
・小学校費	25,580,933千円
・中学校費	13,329,051千円
・高等学校費	3,690,116千円
・特別支援教育費	2,620,908千円
・学校保健費	673,150千円
・学校給食費	3,959,955千円
・義務教育施設整備費	6,826,704千円
・高等学校施設整備費	588,598千円

資料 主な事業の増減(目的別分類)

(単位:千円)

事業名	増減額	平成28年度事業費	平成29年度事業費
○ 学校教育関係経費	20,974,960 (38,401,558 →	59,376,518)
		【別途28年度補正予算対応	18,245,993】
キャリア在り方生き方教育推進事業費	△ 1,324 (6,673 →	5,349)
川崎市教育改革推進協議会運営事業費	4,919 (375 →	5,294)
教職員互助会補助金	△ 10,181 (40,612 →	30,431)
スクールソーシャルワーカー配置事業費	0 (19,206 →	19,206)
夢教育21推進事業費	△ 817 (146,977 →	146,160)
学校司書配置事業費	3,244 (6,340 →	9,584)
子どものためのオーケストラ鑑賞事業費	3,132 (17,575 →	20,707)
定時制生徒自立支援事業費	1,404 (1,404 →	2,808)
外国語指導助手配置事業費	29,078 (307,546 →	336,624)
習熟の程度に応じた指導推進事業費	6,072 (828 →	6,900)
※ 県費負担教職員移管経費(職員給与費等)	56,043,244 (0 →	56,043,244)
児童支援コーディネーター専任化事業費	80,894 (131,891 →	212,785)
就学援助費(小学校・中学校)	98,635 (711,538 →	810,173)
川崎市高等学校奨学金補助金	12,394 (43,225 →	55,619)
特別支援教育サポート事業費	2,312 (65,951 →	68,263)
児童生徒交通安全対策事業費	1,926 (46,432 →	48,358)
小学校等給食調理業務委託事業費	126,077 (1,397,132 →	1,523,209)
中学校給食推進事業費	1,160,710 (846,887 →	2,007,597)
		[28年度補正予算対応	2,845,380]
新川崎地区学校新設事業費	△ 1,828 (28,694 →	26,866)
小杉駅周辺地区学校新設事業費	137,701 (74,566 →	212,267)
子母口小学校・東橋中学校合築整備事業費	△ 431,474 (431,474 →	0)
久末小学校校舎等改築事業費	△ 1,241,466 (1,256,761 →	15,295)
		[28年度補正予算対応	335,028]
古川小学校校舎等増築事業費	△ 606,175 (612,106 →	5,931)
		[28年度補正予算対応	293,039]
下小田中小学校校舎等増築事業費	542,083 (26,030 →	568,113)
		[28年度補正予算対応	580,524]
末長小学校校舎等増築事業費	315,181 (349,546 →	664,727)
西梶ヶ谷小学校校舎等増築事業費	70,437 (212,401 →	282,838)
井田小学校校舎等増築事業費	399,786 (3,348 →	403,134)
臨港中学校校舎等増築事業費	△ 411,069 (411,069 →	0)
塚越中学校校舎等増築事業費	398,760 (5,298 →	404,058)
学校トイレ環境整備事業費	△ 333,575 (361,587 →	28,012)
		[28年度補正予算対応	329,640]
エレベータ等整備事業費	△ 117,694 (160,693 →	42,999)
		[28年度補正予算対応	280,929]
* 学校施設長期保全計画推進事業費	△ 9,385,539 (10,599,105 →	1,213,566)
		[28年度補正予算対応	12,882,809]
学校防災機能整備事業費	△ 848,990 (935,872 →	86,882)
		[28年度補正予算対応	629,391]
○ 社会教育関係経費	285,808 (3,022,166 →	3,307,974)
地域教育推進事業費	2,122 (33,378 →	35,500)
学校施設有効活用事業費	3,927 (58,328 →	62,255)
地域の寺子屋事業費	13,901 (34,914 →	48,815)
橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業費	△ 2,441 (11,742 →	9,301)
社会教育施設長寿命化事業費	260,034 (598,988 →	859,022)
日本民家園50周年記念事業費	4 (5,742 →	5,746)
日本民家園施設整備事業費	25,224 (197,570 →	222,794)
○ その他経費	24,672,137 (7,975,761 →	32,647,898)
職員給与費・共済費(事務局費)	24,375,516 (7,139,069 →	31,514,585)
非常勤職員配置事業費	26,555 (389,954 →	416,509)

第3表

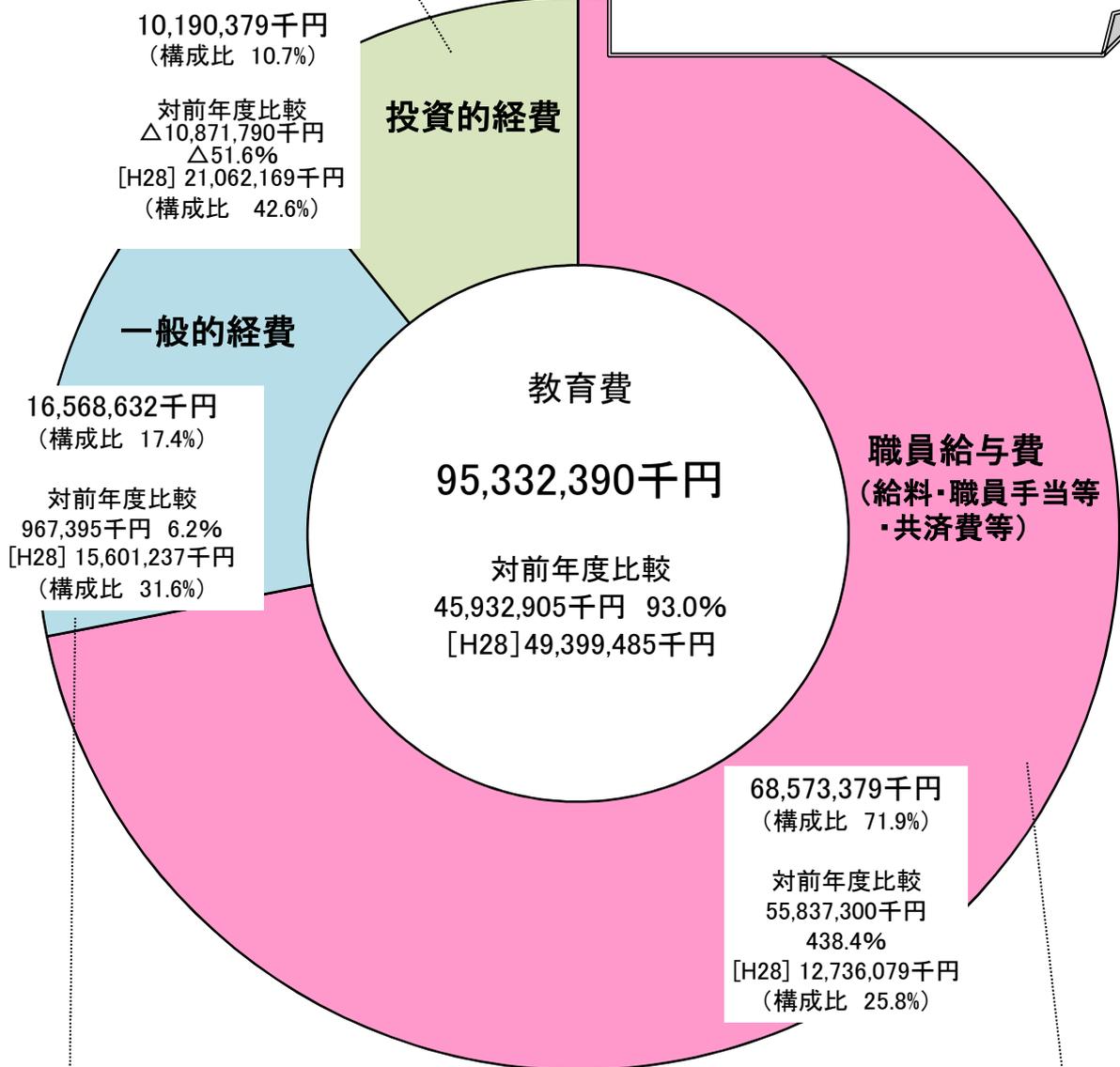
平成29年度教育費予算(案)の性質別分類

- ・義務教育施設整備費 6,826,704千円
- ・中学校給食施設整備費 1,670,446千円
- ・高等学校施設整備費 588,598千円
- ・社会教育施設整備費 872,189千円
- ・博物館施設整備費 232,442千円

<参考>

平成28年度補正予算対応分
(18,245,993千円)を含めた場合

教育費	113,578,383千円	100.0%
職員給与費	68,573,379千円	60.4%
一般的経費	16,568,632千円	14.6%
投資的経費	28,436,372千円	25.0%



- ・教育総務費 3,026,977千円 (職員給与費を除く 以下同)
- ・小学校費 4,905,316千円
- ・中学校費 2,642,977千円
- ・高等学校費 1,083,117千円
- ・特別支援教育費 618,010千円
- ・社会教育費 1,329,576千円
- ・体育保健費 2,962,659千円

- ・事務局費 職員給与費 20,786,920千円
共済費 10,941,104千円
- ・小学校管理費 (職員給与費 以下同) 20,675,617千円
- ・中学校管理費 10,686,074千円
- ・全日制高等学校管理費 1,973,466千円
- ・定時制高等学校管理費 633,533千円
- ・特別支援学校費 2,002,898千円
- ・社会教育総務費 873,767千円

資料 主な事業の増減(性質別分類)

(単位:千円)

事業名	増減額	平成28年度事業費	平成29年度事業費
○ 職員給与費	55,837,300 (12,736,079 →	68,573,379)
※ 予算定数	6,160 (1,294 人 →	7,454 人)
		(再任用職員(短時間勤務)含む)	
○ 一般的経費	967,395 (15,601,237 →	16,568,632)
キャリア在り方生き方教育推進事業費	△ 1,324 (6,673 →	5,349)
川崎市教育改革推進協議会運営事業費	4,919 (375 →	5,294)
教職員互助会補助金	△ 10,181 (40,612 →	30,431)
自然教室運営事業費(小学校・中学校)	△ 1,348 (186,679 →	185,331)
夢教育21推進事業費	△ 817 (146,977 →	146,160)
学校司書配置事業費	3,244 (6,340 →	9,584)
子どものためのオーケストラ鑑賞事業費	3,132 (17,575 →	20,707)
定時制生徒自立支援事業費	1,404 (1,404 →	2,808)
情報教育ネットワーク事業費	1,303 (330,356 →	331,659)
外国語指導助手配置事業費	29,078 (307,546 →	336,624)
習熟の程度に応じた指導推進事業費	6,072 (828 →	6,900)
総合教育センター運営管理事業費	△ 24,518 (163,212 →	138,694)
児童支援コーディネーター専任化事業費	80,894 (131,891 →	212,785)
就学援助費(小学校・中学校)	98,635 (711,538 →	810,173)
川崎市高等学校奨学金補助金	12,394 (43,225 →	55,619)
特別支援教育サポート事業費	2,312 (65,951 →	68,263)
児童生徒交通安全対策事業費	1,926 (46,432 →	48,358)
小学校等給食調理業務委託事業費	126,077 (1,397,132 →	1,523,209)
中学校給食推進事業費(施設整備費除く)	248,324 (88,827 →	337,151)
地域教育推進事業費	2,122 (33,378 →	35,500)
学校施設有効活用事業費	3,927 (58,328 →	62,255)
地域の寺子屋事業費	13,901 (34,914 →	48,815)
○ 投資的経費	△ 10,871,790 (21,062,169 →	10,190,379)
		【別途28年度補正予算対応 18,245,993】	
新川崎地区学校新設事業費	△ 1,828 (28,694 →	26,866)
小杉駅周辺地区学校新設事業費	137,701 (74,566 →	212,267)
子母口小学校・東橋中学校合築整備事業費	△ 431,474 (431,474 →	0)
久末小学校校舎等改築事業費	△ 1,241,466 (1,256,761 →	15,295)
		[28年度補正予算対応 335,028]	
古川小学校校舎等増築事業費	△ 606,175 (612,106 →	5,931)
		[28年度補正予算対応 293,039]	
下小田中小学校校舎等増築事業費	542,083 (26,030 →	568,113)
		[28年度補正予算対応 580,524]	
末長小学校校舎等増築事業費	315,181 (349,546 →	664,727)
西梶ヶ谷小学校校舎等増築事業費	70,437 (212,401 →	282,838)
井田小学校校舎等増築事業費	399,786 (3,348 →	403,134)
臨港中学校校舎等増築事業費	△ 411,069 (411,069 →	0)
塚越中学校校舎等増築事業費	398,760 (5,298 →	404,058)
学校トイレ環境整備事業費	△ 333,575 (361,587 →	28,012)
		[28年度補正予算対応 329,640]	
エレベータ等整備事業費	△ 117,694 (160,693 →	42,999)
		[28年度補正予算対応 280,929]	
学校施設長期保全計画推進事業費	△ 9,385,539 (10,599,105 →	1,213,566)
		[28年度補正予算対応 12,882,809]	
学校防災機能整備事業費	△ 848,990 (935,872 →	86,882)
		[28年度補正予算対応 629,391]	
中学校給食施設整備事業費	912,386 (758,060 →	1,670,446)
		[うち28年度補正予算対応 2,845,380]	
社会教育施設長寿命化事業費	260,034 (598,988 →	859,022)
日本民家園施設整備事業費	25,224 (197,570 →	222,794)

学校運営費

(単位 千円、%)

区 分	校数	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
小学校	113	3,882,892	3,458,805	424,087	12.3
中学校	52	2,029,318	1,675,979	353,339	21.1
全日制高等学校	5	646,840	664,975	△ 18,135	△ 2.7
定時制高等学校	4	75,485	75,432	53	0.1
特別支援学校	3	405,771	318,339	87,432	27.5
計	177	7,040,306	6,193,530	846,776	13.7

※1 各校種について、給与費を除く。

※2 小学校については、少人数指導等推進事業費、児童支援コーディネーター専任化事業費を除く。

※3 小・中・特別支援学校のコンピュータ教室、校務用・普通教室用コンピュータ経費及び高等学校情報処理教育運営管理費を除く。

<主な増減理由>

(単位:千円)

○ 小学校	・非常勤職員配置事業費の増	303,830
	・教材費・光熱水費等の減	△ 62,808
	・施設設備保守管理事業費の増	44,641
○ 中学校	・非常勤職員配置事業費の増	223,410
	・教材費・光熱水費等の減	△ 29,740
	・施設設備保守管理事業費の増	16,723
○ 全日制高等学校	・管理事務事業費の増	9,247
	・教材費・光熱水費等の減	△ 24,264
	・施設設備保守管理事業費の減	△ 3,113
○ 定時制高等学校	・管理事務事業費の増	3,812
	・教材費等の減	△ 3,741
○ 特別支援学校	・管理事務事業費の増	66,588
	・教材費・光熱水費等の増	20,263
	・施設設備保守管理事業費の増	585

平成29年度教育費予算(案) 主要施策

教育費29年度当初予算(案)	953億3,239万0千円
28年度補正予算(案)対応分	182億4,599万3千円
合計	1,135億7,838万3千円

教育プラン 基本政策	施策名	H29予算 (千円)	H28予算 (千円)
人間としての 在り方生き方の軸を つくる	1 キャリア在り方生き方教育の推進	5,349	(6,673)
	2 確かな学力の育成	871,752	(860,001)
学ぶ意欲を育て、 「生きる力」を伸ばす	3 豊かな心の育成	102,804	(96,372)
	4 健やかな心身の育成	7,390,842	(3,259,556)
	5 教育の情報化の推進	1,705,541	(1,703,646)
	6 特色ある高等学校教育の推進	42,788	(70,839)
一人ひとりの教育的 ニーズに対応する	7 支援教育の推進	1,927,346	(1,829,805)
良好な教育環境を 整備する	8 学校安全の推進	214,773	(202,547)
	9 安全安心で快適な教育環境の整備	19,379,392	(15,418,479)
	10 児童生徒増加への対応	4,766,307	(5,180,196)
学校の教育力を 強化する	11 学校運営の自主性、自律性の向上	4,326,347	(4,456,166)
	12 教職員の資質向上	996,661	(408,617)
家庭・地域の 教育力を高める	13 家庭教育支援の充実	2,897	(2,756)
	14 地域における教育活動の推進	77,603	(61,629)
いきいきと学び、 活動するための 環境づくり	15 自ら学び、活動するための支援の充実	759,301	(749,015)
	16 生涯学習環境の整備	1,079,008	(826,444)
文化財の保護活用と 魅力ある博物館づくり	17 文化財の保護・活用の推進	67,585	(58,594)
	18 博物館の魅力向上	442,773	(417,186)

※ H29予算はH28補正予算対応分を含みます。

人間としての在り方生き方の軸をつくる

1 キャリア在り方生き方教育の推進	29予算額	28予算額
	5,349	6,673
<p>将来に向けた社会的自立の基盤となる能力や態度、共生・協働の精神の育成など、人間としての在り方生き方の軸となる力を育む。</p>		
① キャリア在り方生き方教育推進事業	5,349	6,673
<p>■ 将来に向けた社会的自立の基盤となる能力や態度を育むため、小学校からの系統的な「キャリア在り方生き方教育」を全校で実施する。 ■ 家庭との連携を意識したキャリア在り方生き方教育の推進を図る。</p> <p style="text-align: center;">・「キャリア在り方生き方ノート」の配布 など</p>		

学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす

2 確かな学力の育成	29予算額	28予算額
	871,752	860,001
<p>すべての子どもがわかることを目指し、一人ひとりの「学び」を大切にした学力向上策を推進する。</p>		
① 学力調査・授業改善研究事業	48,096	47,607
<p>■ 学力の状況を的確に把握するために調査・研究を行い、その結果を活用して、子どもたちが「わかる」を実感できる授業づくりに向けた取組を推進する。</p> <p style="text-align: center;">・学習状況調査の実施(小5、中1～3) など</p>		
② きめ細やかな指導推進事業	101,156	95,084
<p>■ きめ細やかな指導の充実のために、より有効な指導形態や指導方法について研究実践を進める。 ■ 少人数学級・少人数指導等を推進する。</p> <p style="text-align: center;">・少人数指導等非常勤講師の配置</p> <p style="text-align: center;">○習熟の程度に応じた指導推進事業費(拡充)</p> <p style="text-align: center;">・オンライン学習サービスのモデル実施(4校)</p>		
③ 英語教育推進事業	336,624	307,546
<p>■ 外国人と直接コミュニケーションを図る機会を増やし、異文化を受容する態度を育成するため、小・中・高等学校へALTを配置する。 ■ 4技能(聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと)をより効果的に伸ばす授業展開の工夫につなげるため、教員研修の充実を図る。</p> <p style="text-align: center;">○外国語指導助手配置事業費(拡充)</p> <p style="text-align: center;">・外国語指導助手(ALT)の増員(74名→81名)</p>		
④ 理科教育推進事業	17,367	17,870
<p>■ 企業や研究機関、大学と連携して、技術者、研究者の派遣授業などを進めるとともに、理科支援員の配置や中核理科教員(CST)の養成などにより、理科授業における観察・実験の機会を保障することで、魅力ある理科教育を推進する。</p> <p style="text-align: center;">・小学校全校に理科支援員を配置</p>		
⑤ 小中連携教育推進事業	3,658	3,666
<p>■ 小中9年間の学びの連続性確保の取組や、円滑な接続に係る研究を進めるなど、小学校と中学校が連携した取組の推進を図る。</p> <p style="text-align: center;">・外国語活動・外国語、キャリア在り方生き方教育を対象にカリキュラム開発研究校(2中学校区)で研究を 実践</p>		

⑥ 学校教育活動支援事業	364,851	388,228
<p>■ 児童生徒や学校、地域等の実態に応じて創意工夫を生かした特色ある教育活動を推進する。 ■ 教育活動サポーターの配置により、教育活動に対する支援体制の充実を図る。 ■ 社会の変化に対応できる資質・能力を育成する観点から、教科等を横断した学習を進める。 ■ 生徒の実態に応じた中学校夜間学級の編入相談および運営を進める。</p> <p>・校種間連携教育推進校(2校)の支援 ・児童生徒への学習支援・相談の充実のために教育活動サポーターを配置 など</p>		

3 豊かな心の育成		29予算額	28予算額
		102,804	96,372
人権尊重教育や道徳教育、読書活動などを通し、豊かな人間性を育むための取組を推進する。			
① 道徳教育推進事業		36,307	36,307
<p>■ 発達の段階に応じた指導内容の重点化、教材の充実などにより、道徳教育の充実を図る。 ・道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を活用した道徳教育の推進</p>			
② 読書のまち・かわさき推進事業		34,861	31,625
<p>■ 子どもから大人までが読書に親しめるよう、さまざまな読書活動を推進するため、学校司書等の配置を含めた読書環境の整備を推進する。</p> <p>・総括学校司書の配置(各区3名) ・川崎フロンターレ等との連携による読書活動の実施 など</p> <p>○学校司書配置事業費(拡充) ・児童が読書や学習でいつでも学校図書館を活用できるよう、市内小学校にモデル的に学校司書を配置(14校→21校)</p>			
③ 子どもの音楽活動推進事業		24,019	20,894
<p>■ 子どもが音楽に親しみ、豊かな感性を育むよう、子どものためのオーケストラ鑑賞や市内の貴重な音楽資源を活用した音楽の体験活動を推進する。</p> <p>・「子どもの音楽の祭典」の実施 など</p> <p>○子どものためのオーケストラ鑑賞事業費(拡充) ・希望校全校の参加が可能となるよう、公演回数を増加(5公演→6公演)</p>			
④ 人権尊重教育推進事業		6,590	6,573
<p>■ 人権意識の向上と子どもたちの人権感覚の育成を図る。 ■ 「子どもの権利に関する条例」の周知と正しい理解を図る。</p> <p>・人権研修の充実、人権啓発等の推進 など</p>			
⑤ 多文化共生教育推進事業		1,027	973
<p>■ 子どもたちの異文化理解と相互尊重をめざした学習を推進する。 ■ 多文化共生と多様性を尊重した意識と態度の育成を推進する。</p> <p>・民族文化講師ふれあい事業による講師派遣、多文化共生をめざす教育の充実</p>			

4 健やかな心身の育成		29予算額	28予算額
		7,390,842	3,259,556
<p>子どもの体力向上のための方策の推進やさらなる食育の充実など、生涯を通じて健康で活力ある生活を送る基礎を培うための取組を推進する。</p>			
①	子どもの体力向上推進事業	85,023	75,365
<p>■ 児童生徒の健全な心身の育成をめざし、地域スポーツ人材も活用しながら学校体育活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における「新体力テスト」の実施(32校) ・対外競技派遣事業による部活動の支援 ・武道等指導者、部活動指導者の派遣 など 			
②	健康教育推進事業	500,484	496,175
<p>■ 疾患を早期発見し健やかな学校生活を送るため、健康診断や健康管理、学校医等の配置を実施する。また、子どもたちの望ましい生活習慣の確立、心の健康の保持・増進、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等、各学校における健康教育の一層の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の定期健康診断の実施 ・個別の対応が求められる子どもへの対応等について指導・助言を行うスクールヘルスリーダーの派遣 など 			
③	中学校給食推進事業	4,852,977	846,887
		(うち補正予算対応分)	2,845,380
<p>■ 中学校完全給食の全校実施に向けた取組を進める。 ■ 中学校完全給食を活用した食育推進の取組を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心で温かくおいしい中学校完全給食の実施に向けた取組 学校給食センター(3か所)及び配膳室(9校)の工事 など ・中学校完全給食を活用した食育の推進 ・川崎らしい特色ある『健康給食』の提供 <p>○センター方式の運営開始(南部9月、中部・北部12月)による市立中学校52校全校における中学校完全給食の実施(拡充)</p>			
④	学校給食運営事業	1,888,423	1,779,312
<p>■ 児童生徒の健全な身体の発達に資するため、小学校等において、安全で安心な学校給食の提供を効率的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校等給食調理業務委託の実施 ・中学校ランチサービスの実施 など 			
⑤	学校給食会補助事業	63,935	61,817
<p>■ 学校給食の実施に際し、良質な給食物資の一括調達や安全性の確認を効率よく行うため、学校給食会へ事業費を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で良質な給食物資の安定的な調達及び学校給食会の効率的な運営の推進 			

5 教育の情報化の推進		29予算額	28予算額
		1,705,541	1,703,646
<p>社会で最低限必要な情報活用能力を子どもたちに身につけさせるとともに、ICTの特性を活用した、より学習効果の高い授業の実現に向けた取組を推進する。</p>			
①	教育の情報化推進事業	1,705,541	1,703,646
<p>■ 「教育の情報化推進計画」に基づき、ICT機器整備や研修の充実を図り、児童生徒の情報活用能力の育成、教員の指導力の向上、学校業務の効率化による教員の子どもとふれあう時間の確保に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のコンピュータ機器の更新・保守・管理 など 			

6 特色ある高等学校教育の推進		29予算額	28予算額
		42,788	70,839
中高一貫教育の推進をはじめ、魅力ある市立高等学校づくりに向けた取組を推進する。			
①	魅力ある高校教育の推進事業	40,258	68,633
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「市立高等学校改革推進計画」に基づく取組の評価と検証を進めるとともに、「第2次計画」の策定に向けた検討を進める。 ■ 生徒・保護者・市民のニーズに応じた魅力ある高校づくりを推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・専門学科の魅力づくりの推進 など ○定時制生徒自立支援事業費(拡充) <ul style="list-style-type: none"> ・定時制生徒の将来の自立に向けた進学や就職に係る支援の実施(1校→2校) 			
②	中高一貫教育推進事業	2,530	2,206
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民のニーズに応える中高一貫教育の取組を推進する。 ■ 川崎高校附属中学校入学者の適正な募集及び決定に関する業務に取り組む。 ■ 高い志を持って主体的に学び、これからの国際社会で活躍する資質を身につけた生徒を育てていくため、中高一貫教育校における6年間の体系的・継続的な特色ある教育を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・6年間の体系的・継続的な教育の推進 など 			

一人ひとりの教育的ニーズに対応する

7 支援教育の推進		29予算額	28予算額
		1,927,346	1,829,805
すべての子どもがいきいきと個性を發揮できるよう、障害の有無に関わらず、一人ひとりの教育的ニーズに適切に対応していく「支援教育」を学校教育全体で推進する。			
①	児童支援コーディネーター専任化事業	212,785	131,891
<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童支援コーディネーター専任化により、ニーズに応じた支援体制を構築し、外部機関との連携や幼保との連携・中学校への引継ぎ、若手教員の育成など、小学校段階における早期の適切な支援と教育を実施する。 ○児童支援コーディネーター専任化事業費(拡充) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校における包括的な児童支援体制を構築するため、児童支援コーディネーターの専任化を推進(79校→113校(全校)) 			
②	特別支援教育推進事業	498,523	560,993
<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2期特別支援教育推進計画に基づき、特別支援教育を推進する。 ■ 共生社会の形成をめざした支援教育の推進に向けたインクルーシブ教育システムを構築する。 ■ 教育的ニーズに応じた多様な学びの場を整備する。 ■ 小・中・高等学校における支援体制を整備する。 ■ 教職員の専門性の向上を図る。 ■ 相談や保護者支援のあり方を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校及び特別支援学級の運営 ・通級指導教室(18教室)の運営 ・小中学校等における医療的ケア支援事業の実施 など ○特別支援教育サポート事業費(拡充) <ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高等学校への状況に応じた特別支援教育サポーターの配置拡充 			
③	共生・共育推進事業	4,749	4,775
<ul style="list-style-type: none"> ■ 豊かな人間関係を育む「かわさき共生＊共育プログラム」を実践し、いじめ・不登校の未然防止等を図る。 ■ 「効果測定」の活用により、子どもへの理解を深め、児童生徒指導の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校における「かわさき共生＊共育プログラム」の実施 など 			

④ 児童生徒指導・相談事業	192,169	192,583
<p>■ スクールカウンセラーを市立全中学校に配置するとともに、市立小学校・高等学校に学校巡回カウンセラーを派遣し、各学校で不登校やいじめの問題への対応だけでなく、子どもたちの豊かな心を育むためにその活用を促進し、充実させる。</p> <p>■ 子どもが置かれている環境の調整を行うスクールソーシャルワーカーを各区1名以上配置し、関係機関との連携により児童生徒の抱える課題の解決を支援する。</p> <p>・全中学校へのスクールカウンセラーの配置、小学校・高等学校への学校巡回カウンセラーの派遣 ・スクールソーシャルワーカーの配置(8名) など</p>		
⑤ 適応指導教室事業	74,880	79,020
<p>■ 不登校の児童生徒の居場所(安心安全感を得る場所)として適応指導教室「ゆうゆう広場」を運営し、小集団による体験活動・学習活動のほか、きめ細やかな相談活動を通して、子どもたちの自主性の育成や人間関係の適性・自尊感情を高めることにより、状況の改善を図り、学校や社会への復帰につなげる。</p> <p>・「ゆうゆう広場」の運営(市内6か所)</p>		
⑥ 海外帰国・外国人児童生徒相談事業	54,026	54,283
<p>■ 総合教育センターを中心に、区・教育担当、各学校と連携した相談・就学体制づくりを進める。</p> <p>■ 日本語指導が必要な児童生徒に、日本語指導等協力者(学習支援員)を派遣する。</p> <p>■ 日本語指導が必要な児童生徒に対して、特別の教育課程による日本語指導体制づくりを進める。</p> <p>・海外帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導や学習支援等の実施</p>		
⑦ 就学援助・就学事務事業	816,771	744,128
<p>■ 経済的理由のため就学困難と認められる学齢児童又は生徒の保護者に対し、必要な援助金を支給する。</p> <p>■ 学校教育法等法令に基づき、学齢児童及び生徒の就学事務を実施する。</p> <p>・全保護者への申請書の配布及び申請意思の確認、所得照会を行うことにより、援助を必要とする対象者への確実な援助費の支給</p>		
⑧ 奨学金認定・支給事業	73,443	62,132
<p>■ 経済的理由のため修学が困難な高校生に対し、奨学金を支給する。</p> <p>■ 経済的理由のため修学が困難な大学生に対し、奨学金を貸与する。</p> <p>・経済的理由のため修学が困難な高校生に対し支給する奨学金の対象校の拡大及び入学支度金の支給時期の見直し ・経済的理由のため修学が困難な大学生に対し、奨学金を貸与</p>		

良好な教育環境を整備する

8 学校安全の推進	29予算額	28予算額
	214,773	202,547
<p>スクールガード・リーダーや地域交通安全員を配置し、地域におけるさまざまな危険から子どもたちを守る取組を推進するとともに、教育実践を通して、子どもたちの防災意識を高める。</p>		
① 学校安全推進事業	214,773	202,547
<p>■ スクールガード・リーダーや地域交通安全員の配置、通学路の交通危険箇所の解消・改善に取り組み、学校の安全対策を推進する。</p> <p>■ 防災教育研究推進校の指定や学校防災担当者の研修を充実させ、防災教育を推進する。</p> <p>・保護者等に対する児童生徒の安全に関わる情報配信の実施 ・スクールガード・リーダーや地域交通安全員の配置 ・防災備蓄物資の整備 など</p>		

9 安全安心で快適な教育環境の整備		29予算額	28予算額
		19,379,392	15,418,479
「学校施設長期保全計画」に基づき、学校施設の老朽化対策、質的向上、環境対策等を改修による再生整備と予防保全により実施し、長寿命化を図るとともに、トイレの快適化やバリアフリー化、防災機能強化に向けた取組を推進する。			
①	学校施設長期保全計画推進事業 (うち補正予算対応分)	14,096,375 12,882,809	10,599,105
<p>■ 既存学校施設の改修等の再生整備手法により、より多くの学校の教育環境改善を図るとともに、老朽化対策、質的向上、環境対策による長寿命化を推進する。また、計画的に予防保全を実施する。</p> <p>○学校施設長期保全計画推進事業費(拡充)</p> <p>・「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備と予防保全を併せて実施</p> <p>校舎 24校→32校</p> <p>体育館 37校</p>			
②	学校施設環境改善事業 (うち補正予算対応分)	1,748,190 1,239,960	1,760,993
<p>■ 教育環境の向上を目指し、トイレの快適化やバリアフリー化を進める。また、地域の防災力の向上のために、非構造部材の耐震化など、学校施設の防災機能の向上に向けた取組を推進する。</p> <p>・学校トイレの環境整備(7校、31年度までに全小中学校において1系統のトイレの快適化を実施)及びエレベータの整備(5校)の実施</p> <p>○学校防災機能整備事業費(拡充)</p> <p>・教育施設の特定天井改修工事(3校)等の非構造部材耐震対策や灯油式発電機整備(40校)等の各種防災機能の強化、学校擁壁の改修の実施</p>			
③	学校施設維持管理事業 (うち補正予算対応分)	3,534,827 69,253	3,058,381
<p>■ 学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などを計画的に実施する。</p> <p>・学校施設・設備の保守・点検や維持管理、補修などの実施</p>			

10 児童生徒増加への対応		29予算額	28予算額
		4,766,307	5,180,196
子どもたちを安全で快適な教育環境の中で育てていくことをめざし、児童生徒が増加している地域ごとに必要な対応策を検討し、計画的に増築等を実施する。			
①	児童生徒増加対策事業 (うち補正予算対応分)	4,766,307 1,208,591	5,180,196
<ul style="list-style-type: none"> ・小杉駅周辺地区における小学校新設工事の着手(30年度買取予定) ・新川崎地区における小学校新設に向けた取組 ・末長小学校、西梶ヶ谷小学校の校舎等増築/工事継続 ・下小田中小学校の校舎等増築/工事着手 ・井田小学校、塚越中学校の校舎等増築/設計継続・工事着手 			

学校の教育力を強化する

11 学校運営の自主性、自律性の向上	29予算額	28予算額
	4,326,347	4,456,166
<p>学校が保護者、地域と連携しながら、地域の教育資源や人材を活用し、子どもや保護者、地域の実態に応じた創意工夫ある教育活動を進め、特色ある学校づくりを推進する。</p>		
① 地域等による学校運営への参加促進事業	3,639	6,309
<p>■ 学校・家庭・地域社会が連携して、より良い教育の実現に向け、学校教育推進会議の充実を図るとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組む学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を指定し、その取組成果をすべての学校で共有できるようにする。</p> <p>・学校・家庭・地域社会が一体となって学校運営に取り組むコミュニティ・スクールの運営支援(10校)</p>		
② 区における教育支援推進事業	9,263	9,309
<p>■ 各区に配置した区・教育担当を中心に、区役所と連携しながら学校と地域との連携強化や学校へのきめ細やかな支援を推進する。</p> <p>・区における教育支援の推進 など</p>		
③ 地域に開かれた特色ある学校づくり推進事業	156,104	157,228
<p>■ 各学校の創意工夫を活かした教育活動の充実を図るため、地域人材の活用や学校の自主性・自律性を高めるなど、特色ある学校づくりを進める。</p> <p>・「夢教育21推進事業」等を活用した特色ある学校づくりの推進</p>		
④ 学校の管理運営支援事業	4,157,341	4,283,320
<p>■ 学校の円滑な管理運営を支援する取組を進める。</p> <p>■ 各学校毎に立案した学校運営計画や環境整備計画を実行するため予算調整制度を実施する。</p> <p>■ 効果的な理科教材の整備、また、高等学校の実習等に必要な指導教材の整備を進める。</p> <p>・各学校における予算調整制度の実施、学習効果向上のための理科教材等の整備 など</p>		

12 教職員の資質向上	29予算額	28予算額
	996,661	408,617
<p>ライフステージに応じた研修や教育実践等を通じて教職員一人ひとりの資質能力を高めるとともに、その力を組織的に機能させ、学校の教育力を高める。</p>		
① 教職員研修事業	23,702	21,634
<p>■ 子どもたちとともに学び続ける教員であるために、ライフステージに応じた教職員研修を推進する。特に、学校全体の教育力向上を目指して、若手教員の資質向上とミドルリーダー育成の充実を図る。</p> <p>・ライフステージや職に合わせた研修の実施</p> <p>・初任者研修相談員、指導力向上特別研修指導員の配置 など</p>		
② 県費教職員移管事業	5,231	6,295
<p>■ 平成29年度に実施される学級編制基準や給与負担等の事務・権限移譲について、移管後の運用を円滑に進める。</p> <p>・県費負担教職員の市費移管の円滑な実施</p>		
③ 教職員の人事・定数配置事業	946,506	355,872
<p>■ 学校における教育活動の質的向上を図る人事評価及び管理職登用制度を推進し、人事異動方針に基づいた教職員の意欲を引き出す人事異動を実施する。</p> <p>・人事評価制度の適正な運用の実施、管理職登用制度及び人事異動方針に基づく職員配置の実施(非常勤職員の配置含む)</p>		

④ 教職員の選考・任免事業	12,135	15,566
<p>■ 教職員採用に関する広報活動を充実させるとともに、試験方法や試験対象等について検討改善を加えながら、創意と活力に溢れた優秀な人材の確保を図る。</p> <p>・説明会の開催等教員採用に係る広報及び採用試験の実施</p>		
⑤ 教育研究団体補助事業	9,087	9,250
<p>■ 教育の振興に資するため、校長会や各教科の研究団体など、主体的に事業を行っている各種教育研究団体の活動を支援する。</p> <p>・本市の教育の振興に資するため、主体的に事業を行っている各種教育研究団体の活動支援</p>		

家庭・地域の教育力を高める

13 家庭教育支援の充実	29予算額	28予算額
	2,897	2,756
<p>関係部局や団体、企業、大学等、様々な主体と連携しつつ、これまで各種家庭教育事業を受講できなかった家庭へのアプローチを行うなど、家庭の教育力の向上を図る。</p>		
① 家庭教育支援事業	2,897	2,756
<p>■ PTA家庭教育学級等を実施する。 ■ 既存の事業ではアプローチが十分でなかった家庭に対し、企業等との連携による家庭教育事業を実施する。</p> <p>・保護者への学習機会の提供や、企業等との連携による家庭教育事業の実施</p>		

14 地域における教育活動の推進	29予算額	28予算額
	77,603	61,629
<p>地域教育会議の活性化や、地域の寺子屋事業の推進など、地域の多様な人材や資源を活かして、地域の教育力向上を図る仕組みづくりを進める。</p>		
① 地域の寺子屋事業	48,815	34,914
<p>■ 地域ぐるみで子どもの学習や体験活動をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進める。</p> <p>○地域の寺子屋事業費(拡充)</p> <p>・シニア世代の知識と経験を活かして多世代で学ぶ生涯学習の拠点となり、地域ぐるみで児童生徒の学習をサポートする「地域の寺子屋事業」の推進(30か所→56か所(地域の実情に応じて随時開講))</p>		
② 地域における教育活動の推進事業	28,788	26,715
<p>■ 地域社会でいきいきと活動する市民や、子どもたちの成長を見守り支えている市民の意欲・力を、社会全体の活力や地域の教育力の向上につなげられるよう支援する。さらに、川崎市子どもの権利に関する条例に基づき、地域における子どもの育ちや意見表明を促進する。</p> <p>・7行政区と51中学校区における地域教育会議の活動 など</p> <p>○子どもの泳力向上事業費(拡充)</p> <p>・地域のスイミングスクール等と連携した水泳教室の運営(14か所から拡充)</p>		

いきいきと学び、活動するための環境づくり

15 自ら学び、活動するための支援の充実	29予算額	28予算額
	759,301	749,015
<p>多様な主体と連携しながら、市民が自ら学び、学んだ成果を地域づくりや市民活動に活かす生涯学習事業を展開し、知縁による新たな絆、コミュニティを創造するとともに、市民自治の実現を担う人材を育成する。</p>		
① 社会教育振興事業	46,395	46,705
<p>■ 教育文化会館・市民館・分館において、市民の学習や活動の支援、社会教育に係る団体やボランティアの育成、市民のネットワークづくりなどを行うとともに、学習の成果や地域の人材資源の活用を図り、市民の力による地域の教育力とまちづくり力の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の育成や活動支援事業の検討 ・寺子屋コーディネーターの養成 ・市民・行政協働・ネットワーク学習事業の実施 など 		
② 図書館運営事業	712,906	702,310
<p>■ 市民の読書要求に応える読書施設としての機能に加えて、地域情報や生活情報などあらゆる分野で市民が必要とする資料や情報の提供発信を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の読書要求に応え、市民の課題解決に役立つ効果的・効率的な図書館の運営 		

16 生涯学習環境の整備	29予算額	28予算額
	1,079,008	826,444
<p>市民の主体的な学びを支援するため、学校施設の有効活用を促進するとともに、社会教育施設の長寿命化を推進し、生涯学習環境の充実を図る。</p>		
① 生涯学習施設的环境整備事業	935,147	679,744
<p>■ 市民の生涯学習や地域活動の拠点として、生涯学習施設的环境整備に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な市民活動拠点として、学校施設の有効活用を促進 ・麻生市民館大ホール設備改修 など 		
② 社会教育関係団体等への支援・連携事業	143,861	146,700
<p>■ 地域における生涯学習の主体として、社会教育関係団体・市民活動組織・NPO等の活動を支援するとともに、相互の連携を図りながら市民と行政の協働によるまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との協働や他都市との交流事業などの各種生涯学習機会の提供の支援 など 		

文化財の保護活用と魅力ある博物館づくり

17 文化財の保護・活用の推進	29予算額	28予算額
	67,585	58,594
<p>「川崎市文化財保護活用計画」に基づき、新たな文化財保護制度の整備に取り組むとともに、市民が文化財に親しむ機会の充実を図り、文化財ボランティア等の地域人材の育成・確保を図る。</p>		
① 文化財保護・活用事業	58,284	46,852
<p>■ 市内の多くの文化財の適切な保存と活用に努め、文化財を活かした魅力あるまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川崎市文化財保護活用計画」に基づく文化財の調査・保護・活用事業の推進 など 		
② 橘樹官衙遺跡群保存整備・活用事業	9,301	11,742
<p>■ 橘樹官衙遺跡群(橘樹郡衙跡及び影向寺遺跡)の国史跡指定を受け、史跡の保存整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・橘樹官衙遺跡群の保存活用計画、史跡整備計画策定等に向けた取組 など 		

18 博物館の魅力向上		29予算額	28予算額
		442,773	417,186
「日本民家園」、「かわさき宙と緑の科学館」の特性・専門性を活かした博物館活動の充実や施設間連携等により、各施設の魅力向上につながる事業を展開する。			
①	日本民家園管理運営事業	324,966	300,150
<p>■ 国・県・市の指定文化財25件を有する日本有数の古民家の野外登録博物館として、その貴重な文化財を適切に保存・活用し魅力ある博物館運営を実施する。</p> <p>・文化財建造物・民具等の展示、調査研究、保存・整理、計画的な古民家の補修及び教育普及活動 など</p> <p>○日本民家園50周年記念事業費(拡充)</p> <p>・日本民家園開園50周年にあわせた記念事業の実施 など</p>			
②	青少年科学館管理運営事業	117,807	117,036
<p>■ 川崎市唯一の自然系登録博物館として、天文・自然・科学の3つの柱を中心に、魅力ある博物館運営を実施する。</p> <p>・自然・天文・科学の3分野における展示、調査研究及び教育普及活動 など</p>			